

タンナトリカブト

Aconitum japonicum subsp. *napiforme*

キンボウゲ科

カテゴリー

大分県 II

環境庁 掲載なし



丘陵地から山地の林縁や林内に生える草丈30～80cmの多年草。9～10月に茎の上部の葉のつけ根に、舞楽の装束とりかぶとの烏膏とりかぶとに似た濃紫色の花をつける。大陸系遺存植物で、日本では西南日本に分布するが、県内ではかなり広い地域に生育し、個体数も少なくない。林縁部の生育地では、植生の遷移により生育環境が変わって衰退した所がみられる。植生遷移の進行や人による採取で、生育地の減少や消滅が懸念される。

(写真・文：生野喜和人)

県内分布 中津・宇佐低地，英彦山・犬ヶ岳山地，珍珠丘陵地・山地，九重火山群，由布・鶴見火山群，別府湾沿岸域，大分川・大野川丘陵地，大野川上流域，祖母・傾山地

分布域 本州(中国地方)，四国，九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
朝鮮半島

国立・国定公園指定植物 [阿蘇くじゅう，耶馬日田英彦山，祖母傾]